

【公開文書】

臨床研究

「陽子線治療に伴う肝臓の変形に対する画像解析ソフトの評価」

筑波大学附属病院放射線腫瘍科では、表記の臨床研究を実施しております。
本研究に関する問い合わせ、または、研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下の通りです。

① 研究対象

2008年1月から2014年12月に当院で肝臓に陽子線治療を施行された患者様のうち、治療前にすでに肝臓内に金属製の標的物が挿入されており、治療後当院で腹部CTを撮像された患者様

② 研究の意義、目的、方法

肝臓に発生する腫瘍は、また肝臓内に再発してくる可能性が高いことが知られています。肝臓の腫瘍に対して陽子線治療はよく行われていますが、再発した場合、前回の治療でどの範囲にどの程度の照射が行われたのか正確に判断する必要があります。しかし、肝臓は、陽子線で照射後に変形を生じるために、正確な照射部位の判断は極めて難しいのが実情です。近年、様々な画像解析ソフトが開発され、変形した画像の位置を合わせる技術が進化してきています。研究の目的は治療前後の肝臓のCTを画像解析ソフトで位置合わせをして、その精度を検討します。肝臓内にすでに金属製の標的物(手術クリップや過去の陽子線治療の際に挿入された金属マーカー)のある患者さんを対象とします。治療前後のCT画像を画像解析ソフトを用いて位置合わせを行い、その金属製の標的物の移動距離から変形機能の精度を評価します。

③ 研究機関名・研究者名

筑波大学付属病院 放射線腫瘍科 櫻井英幸

④ 保有する個人情報に関する利用目的

得られたデータを解析して論文発表します。その際に個人が同定する情報は使用致しません。

⑤ 保有する個人情報の開示手続

対応となった患者様、ご家族には研究内容についてお答えすることは可能です。また、本研究に診療情報の提供を希望されない方につきましても、対応いたしますので問い合わせ先にご連絡ください。

⑥ 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学陽子線医学利用研究センター（対応時間：平日 9:00～17:00）

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

研究責任者：放射線腫瘍科 櫻井英幸

研究担当者：放射線腫瘍科 福光延吉

連絡先 電話：029-853-7100 FAX: 029-853-7102